



但馬水産技術センターだより



海況情報（K2210号）

令和4年7月11日
兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

1. 日本海海況予報（2022年7月中旬～9月）

日本海における海況の予報をお知らせします。

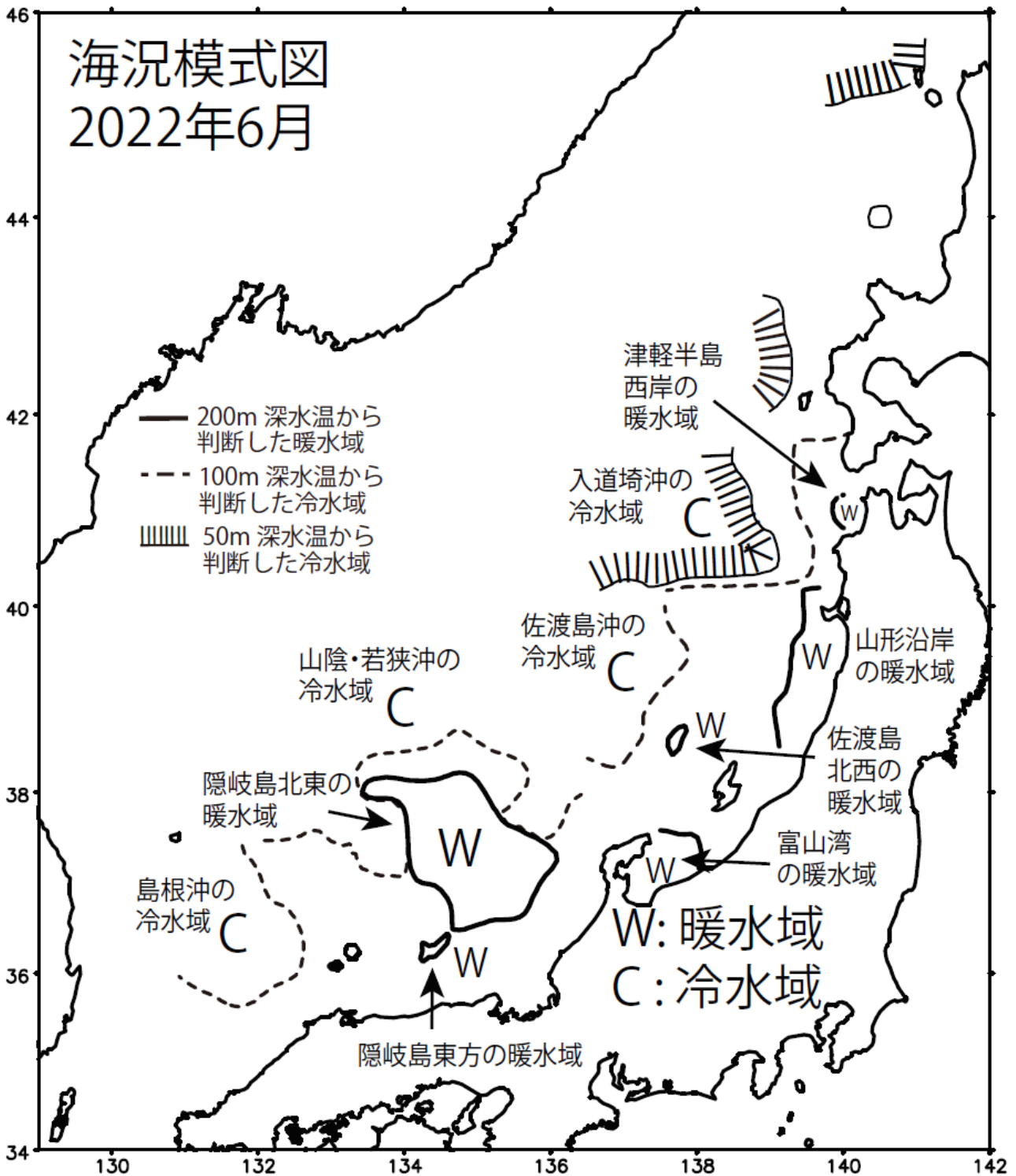
資料1

- ・2022年度第2回日本海海況予報（国立研究開発法人水産研究・開発機構 水産資源研究所）＊観測データの出所は但馬水産技術センターほか各府県等。

（コメント：7月中旬～9月の見通し一部抜粋、別紙の「2022年6月の海況模式図」参照）

- ・ 隠岐島東方の暖水域は弱体化し消滅。
- ・ 隠岐島北東の暖水域はやや北上し隠岐島はるか北東に分布。
- ・ 島根沖の冷水域の張り出しは、規模は「やや小さく」、接岸状況は「平年並み」で経過。
- ・ 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模は「平年並み」、接岸状況は「かなり離岸」で経過。
- ・ 対馬暖流域の表面水温は、「やや高め」で経過。
- ・ 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部ともに「平年並み」で経過。

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター（鈴木）TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684
email：nouringc_tajima@pref.hyogo.lg.jp
ホームページ：https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/



2022年6月の海況模式図

2022年度 第2回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2022年7月中旬～9月）

- (1) 隠岐島東方の暖水域は弱体化し消滅する。隠岐島北東の暖水域はやや北上し隠岐島はるか北東に分布する。富山湾の暖水域は北東に移動し佐渡島北東に分布する。佐渡島北西の暖水域はやや南下し佐渡島西方に分布する。山形沿岸の暖水域は縮小し消滅する。津軽半島西岸の暖水域は東進し津軽海峡から流出する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、やや小さく接岸距離は平年並みで経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模は平年並みでかなり離岸で経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや小さくかなり離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくやや離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部ともに“平年並み”で経過する。

2. 経過（(1)は2022年3月～6月、(2)～(3)は2022年3月～5月、(4)は2022年3月）

- (1) 3月に隠岐島北東で見られた暖水域は6月まで停滞。若狭湾に見られた暖水域は4月まで停滞した後、5月に消滅。能登半島北方に見られた暖水域は4月まで停滞した後、北東に移動し、6月に佐渡島北西に分布。富山湾に見られた暖水域は6月まで停滞。山形沿岸に見られた暖水域は6月まで停滞。4月に隠岐島南東に暖水域が出現し、5月まで停滞した後、北東に移動し、6月に隠岐島東方に分布。能登半島はるか北方に暖水域が出現し、北東に移動した後、6月に津軽半島西岸に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、3月ははなはだ小さくはなはだ離岸、4月はやや小さくかなり離岸、5月はやや小さく接岸距離は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、3、4月はやや小さくやや離岸、5月はやや小さくかなり離岸。佐渡島沖の冷水域は、3、4月はやや小さくかなり離岸、5月はやや小さくやや離岸。入道埼沖の冷水域は、3月はやや小さく接岸距離は平年並み、4月はやや小さくかなり離岸、5月はやや小さくやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、3月は、能登半島西岸、青森西方で“かなり低め”～“はなはだ低め”以外は概ね“平年並み”。4月は、山口北方～隠岐島北方、隠岐島東方～若狭湾、山形西方～青森西方で“やや高め”～“かなり高め”以外は概ね“平年並み”。5月は、山口沿岸、山形沿岸で“かなり高め”、新潟沿岸～佐渡島周辺で“やや低め”～“かなり低め”以外は概ね“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部・北部ともに“平年並み”。

3. 現況（2022年6月）

- (1) 暖水域は、隠岐島東方、隠岐島北東、富山湾、佐渡島北西、山形沿岸、津軽半島西岸に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、やや小さく接岸距離は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、やや小さくはなはだ離岸。佐渡沖の冷水域は、規模は平年並みでやや離岸。入道埼沖の冷水域は、かなり小さくやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、山口沿岸、隠岐島周辺、越前沿岸で“かなり高め”以外は概ね“平年並み”～“やや高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部・北部ともに“やや高め”。

（註）用語の定義は以下のとおり

- | | |
|--------|---|
| ”はなはだ” | ： 標準化した数値の絶対値が2.0を超える（出現確率約22年に1回） |
| ”かなり” | ： 標準化した数値の絶対値が1.3を超え且つ2.0以下（出現確率約7年に1回） |
| ”やや” | ： 標準化した数値の絶対値が0.6を超え且つ1.3以下（出現確率約3年に1回） |
| ”平年並み” | ： 標準化した数値の絶対値が0.6以下（出現確率約2年に1回） |

標準化に用いた平均値と標準偏差は1986～2015年のデータから算出

出典：国立研究開発法人水産研究・開発機構

<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2022/index.html>